

各地区の開催日程

(9:00～12:00、 13:00～16:00 1日6時間)

	日	科 目	開 催 地 区				
			東京 (土)	福島 (金,月,水)	山梨 (木)	群馬 (水,木,月)	神奈川 (火)
導入 講座	1	「熱処理と何か」	10/3	9/28 (月)	10/1	9/30 (水)	9/29
本 講 座	2	「開講式」、 オリエンテーション、 ものづくりと熱処理の役割	10/10	10/5 (月)	10/8	10/7 (水)	10/13
	3	鉄鋼材料	10/17	10/16(金)	10/15	10/19(月)	10/20
	4	鉄鋼の変態	10/24	10/30(金)	10/22	10/26(月)	10/27
	5	基本的熱処理法 (1)	11/7	11/9 (月)	10/29	11/4 (水)	11/10
	6	基本的熱処理法 (2)、 鋼の焼入性と質量効果	11/14	11/20(金)	11/5	11/11 (水)	11/17
	7	浸炭	11/21	11/27 (金)	11/12	11/18(水)	11/24
	8	窒化、高周波焼入れ	11/28	12/9 (水)	11/19	11/26 (木)	12/1
	9	検査技術、 品質管理	12/5	12/18(金)	11/26	12/2 (水)	12/8
	10	熱処理設備、 工作機械、電気、製図、 安全衛生、関連法令	12/12	12/25(金)	12/3	12/9 (水)	12/15
	11	工場見学	12/19	1/8 (金)	12/10	12/16 (水)	12/22
	12	熱処理不具合対策	1/9	1/15(金)	12/17	1/13 (水)	1/12
	13	実 習	1/16	1/22(金)	1/14	1/20 (水)	1/19
	14	業務改善の進め方、 総合討議、 感想文作成、 「閉講式」	1/23	1/29(金)	1/21	1/27 (水)	1/26

教科内容

(1日6時間)

	日	科目	内容	
導入 講座	1	初めて学ぶ熱処理 「熱処理と何か」	熱処理実務経験のない人が本講座へスムーズに入るために、予め「熱入処理とは何か」を易しく学ぶ	
	2	「開講式」、 オリエンテーション、 ものづくりと熱処理の役割	本講座開始にあたり、研修の進め方についての説明と共に、ものづくりにおける熱処理の役割を学ぶ。	
本 講 座	3	鉄鋼材料	熱処理と関係の深い鉄鋼材料の種類・性質・金属組織を学ぶ。	
	4	鉄鋼の変態	加熱・冷却に伴う鋼の変態を中心に、熱処理の基礎理論を学ぶ。	
	5	基本的熱処理法 (1)	焼なまし、焼ならし、焼入れ、焼戻しなどのプロセスを学ぶ。(その1)	
	6	基本的熱処理法 (2)、 鋼の焼入性と質量効果	焼なまし、焼ならし、焼入れ、焼戻しなどのプロセスを学ぶ。(その2) 鋼の焼入性と質量効果鋼の焼入性と質量効果を学ぶ。	
	7	浸炭	浸炭表面硬化法の一つである浸炭のプロセスを学ぶ。	
	8	窒化、高周波焼入れ	窒化、高周波表面硬化法のである窒化と高周波のプロセスを学ぶ。	
	9	検査技術、 品質管理	検査技術検査方法と品質管理のポイントについて学ぶ。	
	10	熱処理設備、 工作機械、電気、製図、 安全衛生、関連法令	加熱設備・冷却設備の機能、温度・雰囲気制御方法と設備保守について、さらに熱処理関連の周辺技術を学ぶ。	
	11	工場見学	熱処理の川上または川下産業の企業を見学し、熱処理の役割を学ぶ。	
	12	熱処理不具合対策	熱処理における様々な不具合現象について、その原因と対策について学ぶ。	
	13	実 習	熱処理不具合の原因究明の手順について、事例をもとに実習する。	
	14	業務改善の進め方、 総合討議、 感想文作成、	職場内における解決すべき課題について、解決の手順を学ぶとともに、相互討議により、課題解決の能力を向上を目指す。感想文作成と学習習熟度の評価テストを実施する。	
			「閉講式」	